

国内の粒子線治療施設とそれぞれの特長

国内にある粒子線治療施設には、立地や得意とする領域などそれぞれ特長がある。目の前の患者が粒子線治療を希望した際に、どのようなポイントを重視するかに合わせて施設選択のアドバイスも可能であると言える。現在稼働中および2013年稼働予定の施設の特長をまとめる。

社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

世界初となる上下配置式陽子線治療施設。より正確に照射する新技術「スキャニング照射」、治療室内で腫瘍位置が確認できる「オンラインCT」など、精密な治療を可能にするハイレベルな装置を導入している(2013年稼働予定)

群馬大学重粒子線医学センター

●国内唯一の大学病院附属の重粒子線治療施設 ●総合病院の魅力を生かし、集学的がん治療・合併症の対応が可能 ●グローバルな人材育成と研究開発に取り組んでいる

国立がん研究センター東病院

●病院設置型の国内初の陽子線治療施設で、がん専門病院として質の高い陽子線治療を提供 ●臓器別のカンファレンスを通して、集学的治療としての最適な陽子線治療を実施 ●腫瘍位置精度向上および国内初の陽子線治療のスキャニング照射技術の開発

南東北がん陽子線治療センター

総合病院に附属しているため陽子線だけでなくリニアック、ガンマナイフ、化学療法、外科治療、IVRを組み合わせることで多様な病態に対処。CT、MRIやPET検査など様々な画像診断を迅速に行い診療に反映させる

福井県立病院陽子線がん治療センター

●日本海側では唯一の陽子線治療施設であり、総合病院としての機能を最大限に活かした集学的治療を実施 ●世界初となる陽子線による積層原体照射システムや、CT自動位置決めシステムを導入

九州国際重粒子線がん治療センター

●重粒子線と陽子線の両方の線種での治療ができる世界初の施設 ●“がん”の種類、部位に応じ最適な線種を選択して治療 ●5,000例以上にも上る豊富な治療経験に基づく医療を提供

筑波大学陽子線医学利用研究センター

●切除不能肝がんにも対応(累計1,000例) ●筑波大学病院内にあるため、集学的治療や他疾患併発例への対応も可能 ●メールやFAXによる問合せに無償で対応している

放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター

●わが国で最初の重粒子線治療施設 ●世界最多の重粒子線治療実績を有する ●さまざまな種類のがんで臨床試験を実施している

兵庫県立粒子線医療センター

●重粒子線と陽子線の両方の線種での治療ができる世界初の施設 ●“がん”の種類、部位に応じ最適な線種を選択して治療 ●5,000例以上にも上る豊富な治療経験に基づく医療を提供

名古屋陽子線治療センター

●東海3県唯一の陽子線治療施設 ●名古屋市内のため通院しやすい(都市型施設) ●西部医療センターが隣接しており集学的治療が可能(病院併設型) ●日本初のスポットスキャニング照射で、よりピンポイントな治療が可能(※2014年3月までに稼働予定)

静岡県立静岡がんセンター

●症例数や技術力など全国トップレベルの総合力を備えた病院に併設する陽子線治療施設 ●複数の診療科医師や各分野の専門のスタッフによる治療やケアを実施 ●患者さんやご家族を徹底支援し、小児がんの陽子線治療も積極的に進めている

九州国際重粒子線がん治療センター

●九州新幹線「新鳥栖駅」の目の前(徒歩2~3分)に、2013年5月、国内初の民間による重粒子線がん治療施設が誕生 ●通院が可能な重粒子線がん治療を、九州、そして広く国内のがん患者に提供していく

メディポリスがん粒子線治療研究センター

●九州初のがん陽子線治療施設 ●隣接するリゾートホテルに家族と共に宿泊して治療できる ●前立腺・肺・肝・膵がんの治療実績が多い ●乳がんの陽子線治療を九州大学先端医療イノベーションセンターと共同研究中

北海道大学(陽子線)、神奈川県立がんセンター(重粒子線)が現在建設中

各施設への取材、および、「日本の粒子線治療施設」[(独)放射線医学研究所作成]をもとに、許可を得てONCOLOGY TODAY改変。



重粒子線治療のためのセカンドオピニオン専門クリニックが開院

粒子線がん相談クリニック(東京都千代田区)

2012年11月、東京都千代田区のホテルニューオータニガーデンタワー1階に、日本初の重粒子線治療専門医による英語での相談も可能な「セカンドオピニオン外来」を専門としたクリニックが開院した。院長は本領域における第一人者である辻井博彦氏で、相談に応じる医師はがんに対して幅広い知識を有した重粒子線治療施設(主に放射線医学総合研究所、群馬大学)の専門医が交代で当たっており、重粒子線治療の適応と判断されれば具体的な治療方針の立案まで可能で、迅速に治療を受けられるという。

また、重粒子線治療の適応とならなかった場合、希望により、患者にとって最適と思われる治療法あるいは医療機関を案内している。最近、海外からも重粒子線治療を希望する患者が急増しており、海外の患者に対しても積極的にわが国の重粒子線治療水準の高さを紹介し、患者受け入れを行っているとのこと。

院長の辻井氏は「日本の治療技術は高いため、日本で治療を受けたいとする海外の患者は少なくない。言葉や習慣の違いなど、受け入れ側の施設が整備すべき課題は多いが、当クリニックが、重粒子線だけでなく様々な治療において海外患者受け入れの1つのモデルになれば」と、今後の展望を述べた。

クリニック概要

特徴

- 重粒子線治療施設の専門医によるセカンドオピニオン外来
- 重粒子線治療の適応可否の判断・検査・治療までをワンストップで提供
- 適応にならない場合、患者にとって最適と思われる治療法あるいは医療機関を案内
- すでに粒子線治療を受けた患者の経過観察も保険診療で実施

実績(患者数, 2013年6月現在)

相談受付数: 338件(国内: 228件, 海外: 110件)

診察数: 191件(国内: 167件, 海外: 24件)

重粒子線治療適応患者数: 48件

(国内: 31件, 海外: 17件)

所在地: 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4番1号

ホテルニューオータニガーデンタワー1階

電話: 03-3239-0556, FAX: 03-3239-0560

info@ryushisen.com http://www.ryushisen.com/